

---

曲目解説 すべてアストル・ピアソラの作品です。

---

●ミケランジェロ'70 (1969年作曲) 演奏時間 3分。

ピアソラの5重奏団が演奏活動を行っていたナイトクラブ「ミケランジェロ70」の新装開店を祝して作曲された曲。ルネサンスの画家・彫刻家のミケランジェロ(1475-1564)に捧げた曲でもあります。ピアソラの五重奏団の編成はバンドネオン、ヴァイオリン、ピアノ、コントラバス、エレキギターでした。

●デカリシモ(1961年) 3分。

タイトルは「とてもデカロ風に」という意味。1920年代後半に活躍したフリオ・デ=カロ楽団をイメージした作品。フリオ・デ=カロ(1889-1980)はタンゴの作曲家・ヴァイオリン奏者。

●悪魔三部作(悪魔のタンゴ、悪魔のロマンス、悪魔をやっつけろ)

最初から3曲まとめて作曲されたわけではなく、タイトルに“悪魔”が付く3曲を集めているものです。悪魔と言ってもキリスト教においては

悪魔=墮天使(墮落した元天使 代表:ルシファー)

なので、美しい存在でもあります。

○悪魔のタンゴ 4分。

○悪魔のロマンス (1965年) 6分。

○悪魔をやっつけろ(1965年) 2分。

原題は Vayamos ad diablo

Vayamos は さあ行こう

Diablo は 悪魔

なので「悪魔をやっつけろ」は誤訳であるとの意見もあります。

●天使の組曲(導入部、ミロンガ、死、復活) (1962年)

こちらは、元々連作として書かれた曲です。

○導入部 5分。

○ミロンガ 6分。

ミロンガはアルゼンチンなどでの音楽のジャンル、およびダンスの形式の名前です。

○死 3分。

○復活 5分。

●オブリビオン（1984年） 4分。

オブリビオンはスペイン語で 忘却

イタリア映画「エンリコ4世」のメインテーマ曲です。映画の内容は仮装パーティでエンリコ4世（神聖ローマ帝国の皇帝ハインリヒ4世のこと、在位：1053年 - 1105年）に扮したところ、落馬して頭を打ち、自分を本物の王だと思い込んでしまった男の悲喜劇です。

●アディオス・ノニーノ（1959年） 6分。

アディオスはスペイン語で さようなら

ノニーノ はスペイン語で おじいちゃんです。

1959年、ピアソラがプエルトリコ巡業中に父親（愛称でノニーノと呼ばれていました）がアルゼンチンで亡くなりました。ピアソラには母国に戻るための旅費がなく当時住んでいたニューヨークに戻って父に捧げたこの曲を作りました。

●ブエノスアイレスの四季

「春」「夏」「秋」「冬」の4曲からなっていますが、当初から4部作にする構想はなく、1965年に劇作家アルベルト・ロドリゲス・ムニョスの舞台のために書いたのがブエノスアイレスの夏です。その後1969年に残りの3曲が発表され、結果としてブエノスアイレスの四季として4部作となりました。

○ブエノスアイレスの春 5分

桜が咲き一年生が入学する日本の春とは相当違う春です。

○ブエノスアイレスの夏 6分

酷暑（想像ですが）であまり動かたくない夏でしょうか。

○ブエノスアイレスの秋 6分

食欲、スポーツ、芸術、いろいろな秋がありますが、これは思索の秋でしょうか。

○ブエノスアイレスの冬 8分

雪が降り、犬が駆け回るような冬ではなさそうです。

編曲によってはヴィバルディの四季からの引用が加わることがあります。

今日の演奏ではどうでしょうか。

ブエノスアイレスと米子の気温、雨量の比較。棒グラフ：雨量、折線グラフ：気温

